

観客を魅了した新作

ミュージカル「銀河鉄道の夜」(津山編)
～ほんとうの幸せを津山で探そう!～
3月1日 勝北文化センター



11月22日(日)の本公演に先駆けてプレ公演を開催。このミュージカルは宮沢賢治の名作『銀河鉄道の夜』に吉井川のごんご(かっぱ)やスローライフ列車など、津山独自の郷土色を織り込んだ新作です。

出演は公募の中から選ばれた小学生から60歳代までの市民など35人。オーケストラの生演奏と星空などの映像をバックに美しい歌声と踊りを熱演しました。訪れた約350人の観客は幻想的な世界へ誘われ感動した様子。割れんばかりの拍手の中、幕が降りました。

生涯学習の成果を多彩に発表

第28回つやま生涯学習まつり・文化祭
2月28日・3月1日 中央公民館・津山婦人青年の家



「心ゆたかに生き生きと」をテーマにした中央公民館・津山婦人青年の家の主催講座の講師と受講生、利用団体による展示と発表がありました。

展示では「切絵教室」や「津山自然観察講座」など17講座が成果をパネルに展示。「絵手紙教室」「籐細工教室」など4講座は体験コーナーも設置。訪れた人が自分の興味のある展示について受講生などに質問する姿も見受けられました。

また、ステージでの発表では「腹話術にチャレンジする会」や「藤紫会」(日本舞踊)など7団体が熱演し、訪れた人から盛んに拍手を浴びていました。

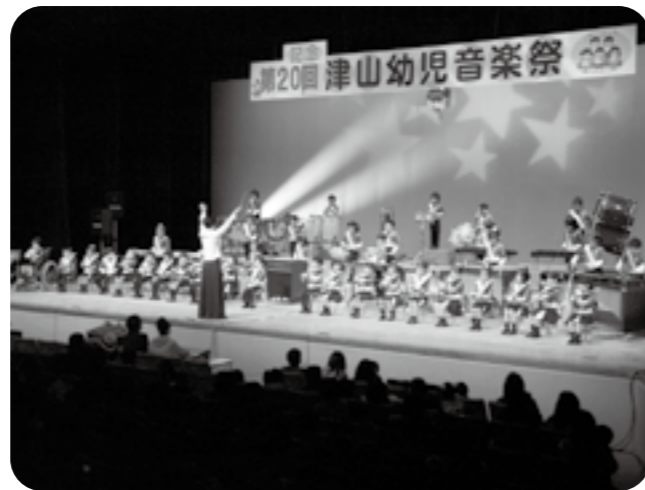


真剣な発表に大きな拍手

第20回記念津山幼児音楽祭
2月21日 津山文化センター

美作圏域の保育園と幼稚園の10園、265人が参加し、歌や演奏など日頃の練習の成果を披露しました。そろいの衣装を着た園児たちは、小さな体でステージいっぱいに発表。会場を埋め尽した父母など約1,200人は、園児たちの真剣な発表に大きな拍手で応えていました。

また、今回初めて保育士による和太鼓と傘踊りの発表もあり、園児たちは先生の華麗な熱演に盛り上がっていました。



楽しく学んだ「認知症」

地域包括支援センターフェア
3月12日 勝北文化センター

積善病院理事長の江原良貴さんが「ひとごとじゃないよね? 認知症」と題して認知症の知識について講演。地域包括支援センター職員が演じた寸劇では、認知症高齢者やその家族への対応方法を紹介しました。

また、希望する町内会に出張して開催している「認知症 ささえあえるまちづくり講座」を受講した2町内会から受講内容と感想について報告がありました。

約500人の来場者は、認知症の知識や対応方法について楽しく分かりやすく学べたようです。

今月のフラッシュ

待望の園舎、新園歌で祝う

「勝北風の子こども園」落成式
2月28日 勝北風の子こども園



勝北地域の4保育所を統合した「勝北風の子こども園」の落成式に関係者180人が出席し完成を祝いました。式典は明るい吹き抜けの遊戯室で開催。4保育所年長組の62人が元気いっぱいに新園歌を披露。出席者全員による万歳三唱で締めくくりました。

3月7日には、園舎一般見学会も行われ、4月に年長組になる坂本麻衣ちゃん(西中)は「とってもきれい。早く来たい!」と笑顔で話してくれました。

